

提供日 2026/04/30
タイトル 浜岡原子力発電所周辺環境放射能調査結果
(速報・第182報)
担当 危機管理部 原子力安全対策課
連絡先 原子力安全対策班
TEL 054-221-2078



1 要旨

「浜岡原子力発電所の安全確保等に関する協定」に基づき実施している浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査について、前回の速報（令和8年3月31日）から令和8年4月30日までに結果がまとまったものを報告します。

採取した試料の一部（土壌）で過去の変動幅^{※1}を上回りましたが、健康への影響が心配されるレベルではありませんでした。

なお、過去の変動幅を上回った原因は、浜岡原子力発電所ではなく、過去の核爆発実験や東京電力（株）福島第一原子力発電所の事故等で放出された放射性物質の影響と推定しました。

※1 過去の変動幅は東京電力（株）福島第一原子力発電所事故前5年間の測定値の範囲

2 測定結果等

試料名 〔試料数〕	採取場所 採取日	測定結果の最大値 〔放射性セシウム ^{※2} 〕	過去の変動幅 (東電事故前5年間)	単位
(1) 土壌〔4〕	御前崎市3か所 牧之原市1か所 採取日:3/6,9	9.2 ^{※3}	1.7 ~ 8.9	^{ベクレル} Bq/kg 乾土
(2) 玉ねぎ〔1〕	牧之原市1か所 採取日:3/3	検出されず	検出されず	^{ベクレル} Bq/kg 生
(3) かさご〔1〕	発電所周辺海域 採取日:3/27	0.084	0.072 ~ 0.14	^{ベクレル} Bq/kg 生

※2 放射性セシウムはセシウム134とセシウム137の合計を示します。

※3 直近5年間の各年の最大値は、9.3~11.9 Bq/kg乾土。東電事故後の最大値は、50.0 Bq/kg乾土でした。

<参考> 食品中の放射性物質に関する基準値（放射性セシウム）

一般食品 100 Bq/kg、乳児用食品及び牛乳 50 Bq/kg、飲料水 10 Bq/kg

3 今後の対応

- ・上記測定結果等については、静岡県環境放射能測定技術会において、学識経験者を含む構成員による評価を行います。
- ・技術会の評価結果については、静岡県原子力発電所環境安全協議会に報告します。